

# 第1学年 国語科学習指導案

3組 児童 男子15名 女子15名 計30名 指導者 佐久間 純子

## 1 みんなでよう

主教材「みつけた」

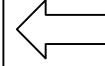
著者名 大野 正男

(光村図書1年上)

<身に付けたい力>

○文章の内容と自分の経験を結び付けながら、内容の大体を読む力

言語活動



みつけたカードを書く

## 2 単元について

第1・2学年における読むことの目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。

本単元は、「くちばし」に続く二度目の説明的な文章である。身近にいる虫を題材に、それらの生き物をどのようにしたら見つけることができるかを説明している。問いに対しダンゴムシ・セミ・バッタの3種類の虫についての答えが並記された構成であり、事柄の順序が分かりやすく説明されている。身近な生き物を題材としているので、カエル・トンボ・ミミズなど、自分が見つけた生き物についても「読むこと」を基に同じように言語化し、「みつけたカード」を書くことで相手(学級の友達)に伝え、カードをまとめて学級の「みつけた図鑑」を作成することにより、ねらいを効果的に実現できると考え、単元を構成した。

本教材は、「どうしたら、みつけることができるでしょうか。」という問いに対し3種類の虫について、居場所・特徴・見つけ方の三点が書かれている。さらに「～するとみつけることができます。」という文型が繰り返されているため、文型に目を向けさせることができる教材である。

指導にあたっては、教材文の読み取りと、学習したことを活用して話したり書いたりする単元構成で学習を進める。単元の導入では、知っている虫の名前や捕まえた経験などを発表し合うことで関心を高めるとともに、自分で見つけた生き物について、「みつけたカード」を書いて友達に教える活動をするを知らせ、相手意識や目的意識を持って主体的に学習できるようにする。読み取りの段階では、居場所・特徴・見つけ方の順序に気を付けさせながら、問いに対する答えを見つけさせる。文章を繰り返し読むことを通し、言語能力の定着を確かなものにする。学習したことを生かして「みつけたカード」を書き発表することで、自分の体験を相手につたえることができる。

### 【単元の目標】

○虫探しや虫を飼った経験と結び付けながら、問いと答えの様式や、説明の内容の順序にしたがって、内容の大体を読むことができる。

### <単元の評価規準>

#### 国語への関心・意欲・態度

・事物の仕組みなどについて説明した本や文章を進んで読んだり、経験と結び付けたりしようとしている。

#### 読む能力

・自分の知りたいことや興味をもったことに関する情報を得るために、事物の仕組みなどがなぜそうになっているかを文章から見つけながら読んでいる。

(1) イ

・文章の内容と自分が持っている知識や経験、読書体験などを結び付けて考えをまとめている。

(1) オ

#### 言語についての知識・理解・技能

・主語と述語の関係に注意して文や文章を読んでいる。

(1) イ(カ)

### <児童の実態>

子ども達はこれまで、説明的な文章の学習として、1学期に「くちばし」で、「問い」と「答え」という説明文の基本的な形式を始めて学習した。そして、自分が選んだ鳥のくちばしについて「くちばしクイズ」を書いて発表した。この学習を通して、「読むこと」については、順序を考えながら内容の大体を読んだり、自分の考えを発表したりできるようになってきた。しかし、文章の細かい点に注意して読んだり、自分の考えを進んで発表したりすることができる子はあまり多くない。文章を書くことも支援が必要な子が1割程いる。

子ども達は、ペア学習を始めたばかりだが、ペアで役割読みをしたり、答え合わせをしたり、意欲的に取り組む子が多い。自分の考えも話せる子が増えてきた。

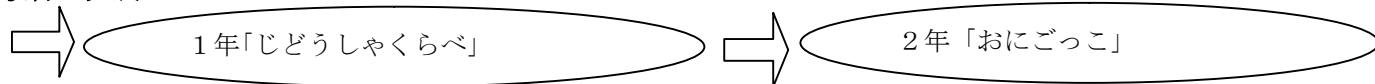
3 学習指導計画（全8時間）

<本単元における必要な既習事項>

- ・主語と述語の関係
- ・長音、拗音、促音、撥音、助詞

時	目 標	学 習 活 動	評価規準（評価方法）
<b>第一次 単元の学習のねらいを知り、学習の見通しを持つ</b>			
1	自分の経験と結びつけながら、「みいつけたカード」を作るというゴールを知ることができる。	○学習課題を設定し、単元の見通しを持つ。 ・生活科の「いきものとなかよし」の学習を振り返り、虫探しや虫を飼った経験を話し合う。 ・虫クイズを楽しむ。 ・教科書の挿絵から、どこにどんな生き物がいそうか考えて発表し合う。 ・「みいつけたカード」を作ることを知り、学習の見通しをもつ。	【関】知っている生き物について、経験と結びつけて、発表しようとしている。（活動の様子、発言）
2	本文を読み、学習計画を立てることができる。	○全文を読み3種類の生き物について書かれていることととらえる。 ○虫などの小さな生き物についての本の並行読書を行うことや読書カードの書き方を確認する。	【関】説明的な文章を進んで読んだり経験と結びつけたりしようとしている。（活動の様子、発言）
<b>第二次 筆者の考えたことに対する自分の考えを読み深める。</b>			
3	問いを理解し、問いに対する答えを読み取ることができる。（だんごむし）	○問いの文を読み取る。 ○だんごむしが、「どこにいるか」「どんな生き物か」「どうするとみつけれられるか」についてペア学習をもとにして読み取る。	【読】だんごむしのいる場所と特徴と見つけ方の並び方を理解している。（発言・ノート）
4 本 時	問いに対する答えを読み取ることができる。（せみ）	○せみが、「どこにいるか」「どんな生き物か」「どうするとみつけれられるか」について、ペア学習をもとにして読み取る。	【読】せみのいる場所と特徴と見つけ方の並び方を理解している。（発言・ノート）
5	問いに対する答えを読み取ることができる。（ばった）	○ばったが、「どこにいるか」「どんな生き物か」「どうするとみつけれられるか」について、ペア学習をもとにして読み取る。	【読】ばったのいる場所と特徴と見つけ方の並び方を理解している。（発言・ノート）
6	知っていたことと、初めて知ったことを分けることができる。	○3つの生き物について、知っていたこと、「みいつけた」を読んで初めて知ったことをノートに書き、発表する。	【読】知っていたことと初めて知ったことを区別している。（発言・ノート）
<b>第三次 身についた力を活用してみいつけたカードを書く</b>			
7	「みいつけたカード」を書くことができる。	○生き物を探して見たことを「みいつけたカード」に書く。	【書】主語と述語の関係を正しく理解している。（みいつけたカード）
8	「みいつけたカード」に書いたことを交流することができる。	○「みいつけたカード」に書いたことを発表し、聞きあう。 ○「みいつけた図鑑」にまとめる。	【関】「みいつけたカード」に書いたことを進んで発表し、友達のよいところを見つけようとしている。（発言）

<教材の発展>



5 本時の指導 (3 / 8)

(1) 目標

○「どうしたら、せみを見つけることができるか」の問いを理解し、答えにあたる部分を読むことができる。

(2) 本時の指導にあたって

・答え(見つけ方)の文をペアで話し合ったり、ペアで役割読みをしたりする場を設定して、せみの見つけ方の読み取りを確実なものとする。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	指導上の留意点・評価
つかむ・見通す 5分	<p>1 前時までの学習を振り返る。 ・だんごむしの見つけ方</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     どうしたら、せみをみつけることができるでしょうか。                 </div> </p> <p>3 課題解決の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だんごむしのいる場所を挿絵で、確認する。</li> <li>・だんごむしの問いと答えを確認する。</li> <li>・学習計画表を基に、単元における本時の位付けを確かめながら学習課題を確認する。</li> <li>・挿絵から、せみがいそうな場所を見つける。</li> <li>・だんごむしのときと同じように見つけることを確認しながら学習の見通しを持たせる。</li> </ul>
考える 15分	<p>4 学習場面を音読する ○5、6段落を全員音読</p> <p>5 読み取る ○せみの居場所とせみの特徴を読み取る。 ・せみがどこにいるかわかる文にサイドラインを引き、ワークシートに抜き書きをする。 ・せみの特徴がわかる文にサイドラインを引き、ワークシートに抜き書きをする。 ○どうしたらせみを見つけることができるかを一人学びで読み取る。 ・どうしたらせみを見つけることができるかが分かる文にサイドラインを引き、ワークシートに抜き書きをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習(せみ)のところを一斉音読させる。</li> <li>・「せみは、」「います。」に着目して文をとらえさせる。</li> <li>・どこにいるかがわかる言葉を抜き書きすることで、文中の大切な言葉を意識させる。</li> <li>・主語と述語の関係に気を付けさせる。</li> <li>・挿絵を参考に、みきとえだを確認する。</li> <li>・「せみは、」「なきます。」に着目して文をとらえさせる。</li> <li>・「見つけることができます。」が問いと同じ表現であることをとらえさせる。</li> <li>・サイドラインは色をかえて、居場所・特徴・見つけ方に引かせる。</li> </ul>
深める 学び合いの場 15分	<p>6 学び合う</p> <p>(1) どうしたらせみを見つけることができるかを確認する。</p> <p>(2) インタビュー形式で確認する。 ・「せみは、どこにいますか。」 →「木のみきやえだにとまっています。」 ・「せみは、どんないきものですか。」 →「よくなきます。」 ・「どうしたら、せみをみつけることができるでしょうか。」 →「こえがきこえるところをさがすと、みつけることができます。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしたらせみを見つけることができるかがわかる文をペアで話し、その後全体で確認させる。</li> <li>・問いと答えの文をペアで確認させる。質問する人は教科書を見て質問し、答える人はワークシートを見て答える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;評価&gt; 問いに対する答えを見つけることができる。 (発言・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個への支援：前時のだんごむしのワークシートを参考にして答えの文を見つける。</li> </ul> </div>

<p>ま と め る</p> <p>10 分</p>	<p>7 学習のまとめをする。</p> <p>○学習したことを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「知っていたこと」「初めて知ったこと」を確認する。</li> <li>・学習の振り返りをする。</li> </ul> <p>8 本時の学習を振り返る</p> <p>(1) 自己評価をする。</p> <p>＜自己評価の観点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せみはどこにいたかが分かったか。</li> <li>・発表について、話の聞き方について。</li> </ul> <p>(2) 次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知っていたこと」「初めて知ったこと」をペアで教え合う。</li> <li>・3つの事柄が順序に書かれていることを振り返る。</li> <li>・せみの「みつけたカード」でまとめをする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習を通して、身につけた力が実感できるように2項目の観点で振り返りをさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、ばったの学習であることを確認する。</li> </ul>
--	--	--

#### 4 板書計画

どうしたらみつけることができるか

どこにいるか

どうしたら、せみをみつけることができるでしょうか。

せみの絵

どうしたらみつけることができるか

木のみきやえだにとまっています。

どうしたら、せみをみつけることができるでしょうか。

よくなきます。

どうしたらみつけることができるか

どんないきものか

どうしたら、せみをみつけることができるでしょうか。

みつけることができます。

どうしたらみつけることができるか

木のみきやえだにとまっています。

どうしたら、せみをみつけることができるでしょうか。

みつけた